

小学校  
3年

# SHINO—BOOK クイズ大会をひらこう！

四條畷市立忍ヶ丘小学校

教科	国語	単元名	図書館たんていだん・本で知ったことをクイズにしよう (鳥になったきょうりゅうの話)
----	----	-----	--

本単元で育む学びスキルと学校図書館活用スキル

C—STEP 2, F—STEP 2  
G—STEP 2, I—STEP 1

該当番号の詳細内容は  
「大阪府情報活用能力  
ステップシート」から確認できます。



## 単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

- ・文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人ひとりの感じ方などに違いがあることに気づくこと。
- ・目的を意識して、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。(学校図書館等の活用でつきたい力)
- ・学校図書館などを利用し、事典や図鑑などから情報を得て、分かったことなどをまとめて説明する。
- ・学校図書館にある本の架配や分類の仕方を理解して学校図書館を利用できる。

## 単元における学習の展開 (全 9 時間) (学校図書館等を活用した時間に☆印)

第 1 次 (3 時間)	・教員からの「本のクイズ」を体験し、課題設定文を確認する。 ・学校図書館にはどこにどのような本があるか知り、クイズに使いたい本の選書をする。(本時) (☆) ・公共図書館へ見学に行き、どのような資料が置いてあるのか知る。(図書館のカードをつくる)
第 2 次 (4 時間)	・本の読み方にはさまざまな方法があることを知る。 ・モデル学習を行い、初めて知ったことや、興味のあることから伝えたいことをしぼる。 ・クイズをつくる。 ・相互評価を行い、加筆修正を行う。
第 3 次 (2 時間)	・SHINO-BOOK クイズ大会を行う。 ・学習を振り返る。 ・図書室の外に掲示し、全校児童がクイズを楽しみ興味をもつことができるようにする。(☆)

## 本時のねらい

クイズ大会を通して、友だちのクイズの工夫の良さについて、感想語彙を使って伝えることができる。

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用及び言語能力の育成のためのポイント・指導上の留意点
導入 (3分)	<b>1. 前時の学習を振り返り、クイズ大会の取組みの流れを知る</b> ・15のカテゴリーをもとに自分の作ったクイズの問いを振り返る。 ・取組みの流れを確認する。	・「すたサポファイル※」にある15のカテゴリーを確認し自分が問いたい内容を確認する。  ※児童が学んだことを大切に保管できるファイルのこと
展開 (30分)	<b>2. クイズ大会を行う</b> ・一人一問クイズを出題し、クラスで取り組む。 ・ペアトークを実施し、ペアの友だちのクイズのよかったところを交流する。	・交流の際には、感想語彙の一覧の中から言葉を選んで伝える。
まとめ (12分)	<b>3. 振り返り</b> ・第1時で設定した自分の目標をもとに、目標を達成できたかできなかったかを振り返る。また、その理由も合わせて記述する。 ・教員は、今回の学習で達成できたことなどを中心に振り返る。	・振り返りの理由記述の中に友だちに伝えてもらったことを入れて記述してもよいことを周知する。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ①課題設定文を用いたことで、どんなクイズをどんな相手に楽しんでほしいのか、相手意識を明確にして取り組む様子が見られた。
- ②相手が明確になったため、1年生にも楽しめるようにクイズの文にはふりがなをふるなどの工夫も見られた。
- ③クイズを楽しんだあと、もともになった本を紹介したことで「この本を図書室で借りてみる！」などの声も出てきた。
- ④語彙表をそばに置き、よかったところを伝える際に活用する様子が見られた。また、ただ面白いではなく、どのように面白いのかにもふれていて、具体的に伝える児童の姿も見られた。



語彙表を使ってペアトークに取り組む児童